

2-9 防災技術展

防災に関する技術や機器は、その目的が限定的であるために開発が容易ではない。また開発されたものの宣伝も市場規模の狭隘さからあまり行われていない。しかし、これらは社会全体の防災力向上のために有用である。このため、地方公共団体や民間企業、さらには NGO や一般家庭など、多くの人々にこれらの技術や機器を知らしめることにより、マーケットを広げることが重要である。

技術や機器を世間に公表する機会としては、東京や神戸などで防災技術や機器の展示会があり、阪神淡路大震災以降何度も開催されている。

アジア防災センターは、神戸市が中心となって、毎年1回神戸と横浜で開催される震災対策技術展に後援団体として、第4回目の震災対策技術展より参加している。

今年度は、神戸会場での震災対策技術展が国連防災世界会議の関連イベントとして、「総合防災展」という名称で開催された。会期も従来の2日間から国連防災世界会議の会期に合わせて、5日間となった。

表 2-9 災害関連展示会の概要

場所	展示会名	会期	来場者数	出展社数	小間数
東京	東京国際消防防災展	1998.6.4～6.9	214,064	260	1,380
	災害救助フェア 2000	2000.4.20～4.23	51,668	70	900
横浜	第6回震災対策技術展'02	2002.2.14～2.15	5,636	125	128
	第7回震災対策技術展'03	2003.2.6～2.7	6,629	96	157
	第8回震災対策技術展'04	2004.2.5～2.6	7,539	92	110
	第9回震災対策技術展'05	2005.2.3～2.4	9,688	130	173
神戸	第1回震災対策技術展'97	1997.1.16～1.17	4,264	130	230
	第2回震災対策技術展'98	1998.1.13～1.14	3,220	115	215
	第3回震災対策技術展'99	1999.1.13～1.14	3,830	120	135
	第4回震災対策技術展'00	2000.1.27～1.28	3,479	59	81
	第5回震災対策技術展'01	2001.1.18～1.19	3,541	50	72
	第6回震災対策技術展'02	2002.2.14～2.15	1,550	25	25
	第7回震災対策技術展'03	2003.1.30～1.31	3,336	43	48
	第8回震災対策技術展'04	2004.1.29～1.30	3,906	35	40
	総合防災展（第9回震災対策技術展'05）	2005.1.18～1.22	8,276	124	153